



三角帆

＜あいさつ えがお おもいやり＞

読書の秋を楽しみましょう

日中は暖かいものの、朝晩は寒さを感じる季節となりました。季節の変わり目の健康管理に注意してほしいと思います。

今日で9月も終わり、1年間の学校生活の丁度半分を終了することになります。それに伴いまして、18日に後期児童会役員選挙が行われました。定員5名に対して、11名が立候補してくれました。立会演説会では、立候補者もその責任者もそれぞれの考えや公約を堂々と発表してくれました。「もっとみんなが元気なあいさつをできるようにしてほしい」、「もっとみんなが笑顔で仲良く過ごせるようにしたい」という発表が多く、そのために、「あいさつ運動をする」、「全校遊びをする」などと具体的な活動も提案できました。どの発表も大変立派で、この野付小学校を今以上に「いい学校にしたい」という気持ち伝わる頼もしさを感じることができました。



後期児童会役員選挙



休み時間の図書室

今月は、秋にふさわしい行事が盛りだくさん開催されて、子どもたちの頑張る姿をたくさん見ることができました。10日に「いもほり」、12日に「収穫祭」を実施しました。「収穫の秋」です。17日に「マラソン記録会」を実施しました。「スポーツの秋」です。そして次は、「読書の秋」の出番です。

今年度の重点の一つに「読書活動の充実」をあげています。子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえでとても大切な活動です。そのために、学校でも積極的に読書環境の整備を進めてまいります。読書において、それぞれの発達段階ごとの特徴は下のようになっています。

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
本の読み聞かせを聴くだけでなく、一人で本を読もうとするようになり、語彙の量が増え、文字で表された場面や情景をイメージするようになる。	最後まで本を読み通すことができる子どもとそうでない子どもの違いが現れ始める。読み通すことができる子どもは、自分の考え方と比較して読むことができるようになるとともに、読む速度が上がり、多くの本を読むようになる。	本の選択ができ始め、その良さを味わうことができるようになり、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で、この段階で発達がとどまったり、読書の幅が広がらなくなったりする者が出てくる場合がある。

それぞれの発達段階に合わせて、どの子も読書が好きになり、上の表のプラス面をさらに伸ばせるように取り組んでまいります。そして、子どもたちの自主的・自発的な読書活動を推進していこうと考えています。ご家庭でも、子どもたちの読書習慣が身につくようにご協力をお願いいたします。

校長 奥村 繁義